



News Release

バイエル マテリアルサイエンス
株式会社
〒100-8211
東京都千代田区丸の内
1-6-5 丸の内北口ビル
TEL 03-6266-7260

本日より化粧品産業技術展 CITE Japan2013 に出展

SPF値を促進し耐水性が高いバイエルの化粧品原料「バイキュサン® C 1000」

- ・乳化処方および乳化剤フリー処方の両方に配合可能なポリウレタン水分散体
- ・使用感も良好な皮膜剤原料

東京、2013年5月15日ーバイエル マテリアルサイエンス株式会社(本社:東京、代表取締役社長:米丸公康)は、2013年5月15日から17日の3日間パシフィコ横浜で開催される化粧品産業技術展 CITE Japan 2013 に出展、サンスクリーン用に処方されたポリウレタン水分散体「バイキュサン® C 1000」を紹介いたします。バイキュサン® C 1000 は、さまざまな種類のサンスクリーン製品に対応できる優れた皮膜形成剤です。

サンスクリーンに日焼けを防ぐ高 SPF 値と、べたつかない使用感の両方を実現させることは化粧品開発者にとって長年の課題です。また、2013年1月より、PA+++が最高だった PA 値は、PA++++(フォープラス)表記が最高防御レベルとして加わり、ますます UVA ダメージへの認識が高まっています(*1)。今後、使用感を犠牲にせず紫外線吸収剤・散乱剤を配合することに化粧品業界各社がますます注目することが予想されています。

ポリウレタン水分散体であるバイキュサン® C 1000 は水中油(O/W)処方に配合すると、SPF 促進とべたつき抑制の両方の効果が期待できます。バイキュサン® C 1000 をサンスクリーンに配合することによって、処方中の紫外線吸収剤を減らすことができるため、処方中の油性原料が少なくなります。それは処方コストの削減にもつながります。バイキュサン® C1000 のサンスクリーン処方を *in vivo* 測定(*2)した結果、バイキュサン® C1000 無配合と比べ SPF 値が促進される傾向がありました。また *in vitro* 測定すると、ビスエチルヘキシルオキシフェノールメキシフェニルトリアジン、オクチルトリアゾン、オクトクリレン、及びオキシベンズン-3 などの紫外線吸収剤が含まれた処方では SPF を促進させる役割を果たしていることが確認できました。

また、バイキュサン® C1000 は乳化処方及び乳化剤フリー処方のどちらにも配合可能で、耐水性を発揮し処方安定にも非常に優れています。in vivo 測定を行うと、サンスクリーン処方の SPF 値は水に濡れても低下しにくい傾向がありました。さらに耐水性のテストを乳化処方及び乳化剤フリー処方の両方で行った結果、いずれも優れた耐水性が確認されています。

(*1) PA 値は紫外線 A 波 (UVA) の防御力、SPF 値は紫外線 B 波 (UVB) の防御力を表す

(*2) COLIPA GUIDELINES May 2006

バイエル マテリアルサイエンス株式会社

2013 年 5 月 15 日、東京

Bayer MaterialScience Ltd. (JPN-BMS-2013-0135)

この件に関するお問い合わせ先:

バイエル ホールディング株式会社

広報本部

梅澤(Tel:03-6266-7685, Fax:03-5219-9705)

日本のバイエルについて

日本においてバイエルは、発売以来すでに 100 年以上経過している解熱・鎮痛剤「アスピリン」を開発した会社として知られている。日本のバイエルは、ヘルスケア分野から農薬関連、さらに先端素材の分野まで、人々の健康や暮らし、産業に関わる社会の幅広い領域で付加価値の高い製品やサービスを提供している。日本のバイエル全体の売上は 2,349 億 1,100 万円 (2012 年) で、従業員数は 3,320 名。

バイエル マテリアルサイエンス社について

バイエル マテリアルサイエンス社は、2012年売上高が115億ユーロ(継続事業)で、世界最大のポリマー製造企業の1社です。主たる活動分野は、ハイテクポリマー素材の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建設、スポーツ・レジャーの各産業です。バイエル マテリアルサイエンス社は2012年末現在、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は14,500人です。バイエル マテリアルサイエンス社は、バイエルグループの一員です。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがある。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれる。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではない。